

さまざまな細胞の観察 ～その魅力と教材化の可能性～

日 時 2025 年 11 月 22 日（土）午後2時～5時

会 場 名城大学附属高等学校 生物室

（名古屋市中村区新富町 1-3-16）

名鉄電車「東枇杷島」駅下車徒歩約 5 分（普通電車のみ）

「栄生」駅下車徒歩約 8 分（急行・準急および普通）

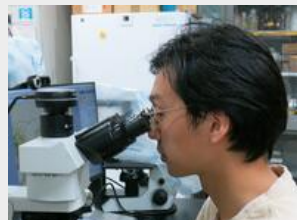
話題提供者 京都大学大学院農学研究科 研究員 加藤優太氏

プログラム 1. 様々な材料の観察方法についての紹介 （約 30 分）
2. 観察実習 （約 70 分）
3. 探究的な観察についての議論 （約 70 分）

【趣旨説明】

学習指導要領が変わっても「細胞の観察」は必ず取り上げられる題材です。今回は「細胞の観察材料と教材化の視点」をテーマに、生徒自らが「主体的、対話的で深い学び」ができるようにするには、どんな材料を、どのように観察するとよいのかを参加者で議論したいと思います。

植物顕微鏡写真が趣味という加藤優太さんに話題提供をしていただきます。
参加者の皆さんからの細胞観察実践紹介もお願いしたいので、協力いただける方は、参加申込用グーグルフォームにその旨ご記入ください。吉川靖浩さんには観察像の共有の仕方等について紹介していただきます。



※ 参加費（資料代） 500 円

※ 申込方法 グーグルフォームからお願いします。

<https://forms.gle/V4M2uoxhYA7pvUiYA>

※申込締切 11 月 18 日（火）（定員 30 名になれば締め切ります）

※ 問い合わせ先：生物教育研究所 info@tibe.sakura.ne.jp

連絡先電話番号：090-5367-9778（中道貞子 生物教育研究所研究員）

※意見交換会について

17 時 30 分頃から、名古屋駅近くで意見交換会を開催します。会費は 5,000 円程度。議論しきれなかったことについてワイワイ話し合いができればと思います。こちらも、上記グーグルフォームでお申し込みください。



申込用 QR コード

【註】生物教育研究所について

生物教育に関わるさまざまな活動を行っている生物教育者（主として、フルタイム勤務を終えた者）で構成されている研究機関。

研究員は、それぞれが関心のあるテーマについて研究活動や啓蒙活動を行っている。

所長：片山舒康（東京学芸大学名誉教授） HP <https://tibe.sakura.ne.jp/index.html>